

12/27  
五種

# 生活保護減“苦しい”

## 支援者ら緊急電話相談



生活保護に関するたくさんの相談を受けるホットラインの相談員たち＝26日、東京都新宿区

厚生労働省が生活保護費を来年度予算案で160億円削減することを決定したのを受け、保護利用者の生の声を安倍晋三首相らに届けようと、支援者らが26日、東京都、埼玉県、大阪府で緊急ホットラインを開設しました。主催は、「生活保護基準引き下げに反対します（緊急ホットライン）」私たちの声を聞いてください」と実

行委員会です。多くの生活保護利用者から「現状でも苦しい。これ以上保護基準が引き下げられたら生きていけない」という悲鳴が寄せられました。

相談員の男性（24）

「東京都渋谷区」は、単身世帯や母子家庭の人からの相談が多いと指摘します。「家族や親せきに生活を支援してもらえないのは難しい」と話す方もいました」と述べました。

病気で働けず生活保護を利用せざるを得ないと話す女性からは「現状の保護費は生活

に不十分なうえに、私は障害年金等の他の支援が受けられていない。今すぐ生活保護基準を上げてほしい」との声が届きました。

司法書士の後閑一博

さんは「生活保護は生存権保障そのもの。（保護基準引き下げで）人間らしい生活ができなくなる水準になれば、病気で働けなくなっただけで人間として生きるのが困難になってしまう。深刻な利用者の生活実態を無視した今回の基準引き下げには、断固反対だ」と強調しました。